

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 275 号 2021. 3. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

ねこみちアートフェス 2021

毎年2月の3日間に開催される「ねこみちアートフェス」は、コロナ禍で形を変え、2月ひと月間、密を避けて行われました。

- ① 西武新宿線中井駅前 TRY 店内で、作家作品の委託販売が毎週金～日曜日に行われ、私たち「むせひ屋」は自然農法のお茶やジョリフィーユのクッキーを販売
- ② 22日の「猫の日」前後を特別イベントとし、「むせひ屋」は温かい焙じ茶と熱々自然農法の焼き芋を販売
- ③ オンラインショップにても、煎茶と焙じ茶を販売
- ④ 各日曜日には、リモート講習の他、動画を使って市川生産グループの畑の様子を継続配信



オーナー山本さんの作家を支える熱い思いと運営委員の努力、また中西さん飯塚さんはじめ「むせひ屋」スタッフのお手伝いにより無事、自然農法のお茶や加工品の頒布を行うことができました。コロナ禍で例年のような集客はなかったものの、店内にお菓子つきの抹茶や自然茶喫茶コーナーも設けられ、お客様もスタッフも始終和やかな雰囲気でした。来店された方々は不思議なほど必ずお茶やクッキーを購入してくださいました。後で分かったことは、オンラインで下調べをしてから来店する方が多かったようです。

なかには、真っ先にむせひ屋のお茶を目指して来られた方もいました。ある赤ちゃん連れのご夫婦は、「子供もよくこのお茶を飲み、おいしいから」とリピーターに。ご近所の女性は自然なスッキリしたお茶の味に驚き、翌日感動を話してください、生産に携わる想いに共感し、友人のためにと焙じ茶を購入。後日、そのご友人と来店されたことを山本さんから伺いました。山本さんや運営委員の方、作家の方々は皆さん、お客様に「市川の焙じ茶がおいしい」と勧めてください、現在 TRY 店内にての金・土曜日の委託販売がかないました。

今回の様子を、農業指導員で製茶工場の右原さんにお伝えしたところ、目を輝かせて、「もっと生産者を増やさなきゃな」とおっしゃいました。先日のねこみちの会合にて、今後もオンラインショップや動画を活用することになりそうです。全国(世界)に、岡田茂吉師の教えによる無施肥無農薬茶が存在することを知らせ、今の混沌とした情勢に、安心安全と癒しを掘められますことを想い、生産販売の一端に関わらせていただき、努力してまいりたいと思います。(スタッフ:森章代)



ばくばく食べる自然米♪

東京都 金津純子

甥の2才になる男の子には生まれつき心臓に疾患があり、大きな手術をしていました。日々祈りつつ、甥のためにできることを考えていました。昨年11月、ギフトボックス案内に目が留まり、これだ!と思いました。かわいいパッケージにクッキー、お茶と堀さんのお米などすべて自然農法のもので。早速、ジョリフィーユの宮澤さんに申し込みますと、「心をこめてお作りします」との言葉に、自然農法ものと一緒に「心」も送っていただけると感じ、温かい気持ちになりました。

12月初旬に甥の元に届けられ、お礼の連絡が来ましたが、自然農法と市販のものの違いを意識してほしく、感想を聞いてみました。「子供はいつも白いご飯をあまり食べなくて、炊き込みごはんにして

いるのだけど、このお米はそのままでもばくばく食べました!」との返事に、とてもうれしく、自然農法のことを体が欲して、おいしく食べられ、力になることを改めて分かっていただきました。後日、堀さんにお会いしたときにそのことをお伝えすると、「とても励みになります」と言ってくださいました。これから自然農法の作物を贈ろうと思います。生産者の皆様、ありがとうございます。

埼玉の自然農法活動!

●三六九会農園(埼玉県入間市)

3月7日にお茶の木の剪定(せんてい)をしました。去年、畝間に防草シートを敷いたので、雑草が抑えられ、お茶の葉の生育は良いようです。これから温かくなると、また雑草も増えてくるので、草取りをこまめにして5月のお茶摘みに備えたいと思います。(編集部)



●入間グループ農園

3月7日にジャガイモを植えました。現在はキャベツ、小松菜、白菜のつぼみ菜が収穫できています。先月はブロッコリーも例年になくよくできました。これから植えばなしになっているイチゴの苗を整理して、きれいなイチゴを収穫できるようにしたいです。また、去年できなかった黒インゲン豆の販売を、今年はさせていただけるように取り組んでいきます。(編集部)



●弥生会農園

埼玉県狭山市にある無施肥無農薬栽培 40年目となる畑をお借りし、作物を栽培しています。2月より葉物や人参、大根の種まきを始め、種まきの翌週にはビニールトンネルの中で発芽している様子を確認でき、今後の成長、収穫への期待を膨らませております。

もともと、弥生会農園では葉物の栽培を特に大きな課題としており、寒い時期に発芽せず、温かい時期でも厳しい日射や虫害によりほとんど収穫できない現状がありました。そんな中、1月に「ののファーム」として無施肥無農薬栽培に取り組まれている金野様と吉野様のもとに見学に行かせ



1月30日 金野さん(左)の指導

ていただきました。寒い時期にも関わらず、ほうれん草や小松菜、おはらめといった葉物野菜がビニールの中で気持ちよさそうにしっかりと育っており、その様子に深く感動したことを覚えています。お二方は相当な努力の中培った経験や知識を惜しみなく教えてください、また、実際に畝の作り方や種まきの仕方、トンネルの作り方で体験させていただき、大変貴重な時間を過ごさせていただきました。

早速新しい資材を調達し、教えていただいた種まきの一連の流れを実践した結果が出始め、作物にとって快適な環境を作っておけることの大切さを改めて実感しております。収穫までの道のりは長いですが、多くの方々に野菜をお届けできるよう、土と作物の力を引き出せるお世話を学び、実践していきたいです。(江原沙貴)

お知らせ (変更の可能性あります)

★ 自然農法頒布会 4月27日(火) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00 (売切れ次第終了)

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp